series1

これからの庁舎のあり方を考える

令和3年3月末に任期を迎える垂水市新庁舎建設検討委員会（外部委員会）が、3月12日に開催され、2月5日に同会が実施した市民意見聴取の内容を踏まえ、今後の垂水市庁舎のあり方の検討についての提言書が取りまとめられ、副市長に提出されました。

提言内容は主に次の3点

- 現庁舎への対応について
- 候補地の調査検討について
- 新たな外部委員会設置について

本市としては令和3年度以降の庁舎整備業務の参考とする予定です。

提言書のポイントは次ページへ！

1 2 2月5日に開催された、市民意見聴取の様子　3 3月12日、外部検討委員会より意見書の提出

外部検討委員会　提言書のポイント

point 1 現庁舎への対応について

- 市民や職員の安全を確保するために現庁舎の耐震診断を行い、その結果を受けた対策を早急に行うべきである。
- 耐震診断の結果を受けた対応は、小規模な改修とするか、大規模な改修（リノベーション）を実施し長寿命化を図るか、十分検討を行う必要がある。

point 2 候補地の調査検討について

- 新たな庁舎に必要とされる機能や規模の設定が重要である。
- まずは現庁舎敷地と市民館敷地に対するプランの提案について実現性の確認を行う必要がある。

point 3 新たな外部委員会設置について

- 現庁舎への対応の調査検討が加わり、外部委員会の役割が格段に大きくなるため、新たに多様な考え方を持つ委員を公募枠を設けて選任すべき。
- 議論を重ね、多様な市民意見を取りまとめて、市が適切な判断を行えるよう外部委員会として努めていく必要がある。

垂水市庁舎等のあり方検討委員会の公募委員を募集します

庁舎等のあり方について総合的に検討を行うため、新たに垂水市庁舎等のあり方検討委員会を設置し、幅広い分野・年齢層からの市民意見の反映を行うことを目的に、委員会の委員として参加してくださる方を募集します。

委員の役割　次に掲げる事項について審議します。
- 庁舎等の今後のあり方に関すること
- 庁舎等の基本的方針に関すること
- その他市長が必要と認めること

委員の任期　2年間

開催回数　年6回　※増減あり

公募委員数　若干名

謝金等　会議1回／謝金4千円および交通費

応募資格
- 本市に在住または在勤されている方
- 本市庁舎等のあり方について、前向きな意見を出していただける方
- 年齢制限はありません

▲公募委員応募はこちらから

応募方法

申込書に必要事項を記入のうえ、持参・郵送・FAX・E-mailにて、企画政策課庁舎建設係にご提出ください。

応募期間　4月1日（木）～4月23日（金）

問 企画政策課庁舎建設係☎内線 247